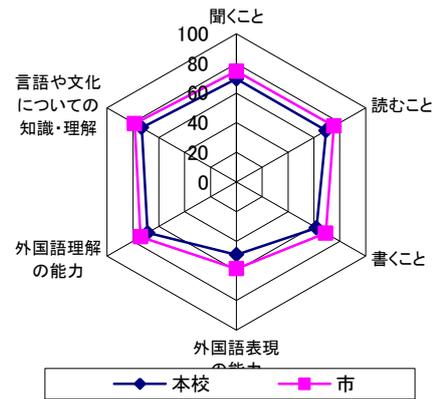


# 宇都宮市立陽南中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	69.6	74.8	66.0
	読むこと	69.4	75.5	66.9
	書くこと	61.9	69.1	64.8
観点別	外国語表現の能力	49.1	58.5	53.9
	外国語理解の能力	68.7	74.1	65.7
	言語や文化についての知識・理解	73.3	78.8	71.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○英文の要点の聞き取りでは、どの設問も参考値の正答率を上回っており、将来の希望を聞き取る設問では市の正答率を僅か2.0ポイントのところまで聞き取れている。</p> <p>●絵を適切に表している英文の聞き取りでは、どの設問においても市及び参考値の正答率を下回っている。このことから本校の生徒は絵などの資料を読み取る力が不足していると考えられる。</p>	<p>まず、絵などの資料を読み取る力をつける指導が必要である。その上で、リスニングテストの開始前に絵や資料をよく確認し、資料からどのような設問が出されるかを予想させる指導を加える必要がある。</p>
読むこと	<p>●長文の読み取りでは、どの設問も市の正答率を下回っており、特に本文の内容に関する英語の質問に英語で答える設問では、市の正答率より12.1ポイントも下回っている。</p>	<p>語彙力不足が読解力不足にダイレクトにつながっているため、授業中に単語の練習をする時間帯を定期的を設定し、家庭学習でさらに反復練習させ、小テストで確認するというサイクルを確立し、継続的に指導する。</p>
書くこと	<p>○日本語の意味に沿って単語を正しく各設問では市の正答率とほぼ同レベルの正答率である。</p> <p>●自分の経験をもとに、ある場所の紹介文を書く設問では、市の正答率を10ポイント以上下回っており、まとまった英文を書く力が不足している。</p>	<p>何を英語で表現したらよいかを理解し、正しい英文で表現していく力が必要なので、語彙力や語順、文法などの基礎事項の指導を繰り返すとともに、こういった作文の練習を繰り返すことで「書く力」を高めていく。</p>